



現場から（最近のニュースから）

お金と幸せ



幸せはお金で買えないということは、いつも言われていることです。しかし、お金があれば幸せになると思っている人々が多いです。お金と幸せについて考える記事がありました。古代の伝統的なモデルから最新の心理学研究の結果、ストア派をはじめとする哲学や、バリュー投資家の思考まで、膨大な研究結果をひもときながら、「よい人生」を送るための52の思考法をまとめた『Think clearly』（サンマーク出版）より一部抜粋したものです。

記事では、「限界効用逓減の法則」が説明してあります。簡単に言うと、消費財を消費すれば消費するだけ、満足の内量は増えても、満足度は徐々に減少していく、ということです。たとえば、砂漠でものすごく水が欲しいときに、最初の一杯目の水には、ものすごく価値があるように思えて満足するのに、何倍か飲むと、同じ一杯の水でも、それに対する満足度は減ってしまうということです。そのように、収入が増えると満足すると思えるのですが、ある一定の収入を超えると、どんなに追加で収入があっても、幸福度は増えないということです。億万長者でも、人間としての悩みや問題はありますし、億万長者だからある煩わしいこともあります。そのような問題や煩わしいことは、どんなに立派な豪邸に住んでも、解消しないということです。宝くじの高額当選者たちを調べた調査もあるそうです。それによると、「高額当選を果たした数か月後には、当選者たちの幸福度は、すでにそれ以前とあまり変わらなくなっていた」ということです。その他にも、どんなに生活水準が良くなっても、幸福度には影響がないという研究もあるということです。

それなのに、なぜ人々は少しでも収入を増やそうとするのかということについて、記事では次のように言われています。その答えは、豊かさとは、「絶対的な価値」ではなく、「相対的な価値」だからだということです。自分が隣の人より多く持っていることが、幸福度には必要だということです。また、隣の人との相対的な比較ではなくても、自分の過去との比較で幸福度が変わるということです。昔より少なかったら、なにか足りないと思うということでしょう。そこで、記事では、お金との上手なかわり方について紹介してありました。「一つ目は、ある程度の貯蓄をしておくこと。二つ目は、所得額や資産額のわずかな変動に、いちいち反応しないこと。三つ目は、裕福な人と自分を比較しないこと。四つ目は、もしあなたが大金持ちでも生活は質素にすること。」結局、最後に、ほんとうの貧困でないなら、幸福は「お金以外のところで得られる」ということを言われていました。（4月3日マネー現代<じつは宝くじに当たっても幸福度は変わらなかった…多くの人が勘違いしている「豊かさ」の本質>より）

幸せな人生を送るためには、お金以外のものが必要だということでしょう。しかし、記事にもあるとおり、自分とまわりを比べたり、自分の過去の経験で考えたりしているなら、いつまでも何か足りない状態で生きるしかありません。お金が幸せをもたらすのではないと分かっているにもかかわらず、お金があればその足りなさが満たされると思いませんか。それは、実はあなたは金に縛られているということです。金に縛られず、ほんとうにあなたが満足するためには、何が必要なのでしょう。そのことについて、お伝えしたいことがあるのです。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故に会い、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になるし、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださいましたことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください